

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-111
評価技術名称					連絡先			
構造用合板を用いた在来補強工法 「標準大壁」					https://www.aichi-gensai.jp			
					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会			
					実験実施機関 :名古屋工業大学			
概要	技術概要							
	大壁は建築基準法で壁倍率が指定されている構造用合板補強。							
	技術の特徴						コスト	
	・ 一般流通品なので取り扱いが容易						サンプル構面	38,033 円/kN
							設計見積り例	あり
適用範囲					写真・図			
構法		木造在来軸組工法						
規模		3階建て以下						
基礎、地盤		特になし						
適用部位		内外壁						
耐震性能								
評価仕様:大壁直貼仕様								
壁基準耐力		壁基準剛性						
5.2 kN/m		730kN/rad./m						
大壁標準工法								
設計方法								
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること								
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること								
施工者指定								
特になし								
主要構成部材の仕様								
仕様	構造用合板		大壁、厚 9mm、縦使い、各高さ 400mm 以上					
			釘 N50、CN50、@150mm 以下、間柱打ち、四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下					
	間柱		三ツ割材以上、釘 N50、CN50 @150mm 以下					
	継手受材		奥行 30×見付 90mm 以上、釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち					
	上下受材		なし					
	四方受材		なし					
	下地材		なし					
	アルミアングル		なし					
かさ上げ材		なし						
その他								

